



第 5 回ふくしま学(楽)会

ふくしまから伝えたいこと、 知らなければいけないこと。

2011 年の東日本大震災・福島原発事故から 8 年半が経過し、「復興の 10 年」の終了まであと 1 年半となりました。1F の廃炉（事故処理）作業も本格化し、福島復興も新たなステージへ移行しつつあります。

2017 年 5 月に開所した早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンターは、長期的・広域的な視点から原子力災害からの地域社会再生について調査研究してきました。2018 年 1 月には、世代を超えて、地域を超えて、分野を超えて福島復興について議論する場として、ふたば未来学園の高校生や地域社会、NPO、国や地方の行政、大学などの多様な人々の参加による、第 1 回ふくしま学(楽)会を開催しました。その後、2018 年 8 月に第 2 回、2019 年 1 月に第 3 回、2019 年 8 月に第 4 回ふくしま学(楽)会を開催してきました。

特に、第 3 回ふくしま学(楽)会では、これまでの議論をまとめ、2050 年の持続可能な福島県浜通り地域社会の構築に向けた「ふくしま浜通り社会イノベーション・イニシアティブ (SI 構想)」を提案しました。SI 構想は (1) 原発事故遺産・震災復興祈念施設・エネルギー産業遺産のネットワーク構築、(2) 1F やエネルギー遺産群を核とした地域の新たな魅力や価値を創る地域アートの展開、(3) エネルギーと復興を学ぶ体験に農泊・渚泊など組み合わせた広域 DMO（広域地域経営機構）の創設、という 3 本柱から成り立っています。

今回の第 5 回ふくしま学(楽)会では、今までの議論を踏まえ、SI 構想の内容をさらに豊富化し、具体化へ向けた議論を行いたいと考えています。「福島の再生なくして日本の再生なし」という福島復興の原点を再確認し、多世代、多地域、多分野の多くの皆さんの参加を呼びかけます。

日 時: 2020 年 1 月 26 日 (日) 10:30-17:45

会 場: 福島県檜葉町みんなの交流館ならは CANvas

(福島県檜葉町大字北田字中満 260、電話 0240-25-5670 : 最寄駅・JR 常磐線竜田駅)

参加費: 無料、どなたでも参加いただけます。資料準備のため、参加希望者は下記のメールへ連絡ください。

主 催: 早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター・早稲田大学レジリエンス研究所 (WRII)

共 催: 福島県広野町

後 援: 双葉地方町村会、福島県檜葉町 (予)、早稲田大学アジア太平洋研究センター (WIAPS)、
早稲田大学環境総合研究センター (WERI)

問合せ先: 電話 0240-27-1251 福島県広野町復興企画課 担当: 阿部加奈子
03-5292-3526 早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター事務局
e-mail jyuten-fukkou@list.waseda.jp 早稲田大学レジリエンス研究所 (WRII)
<http://www.waseda.jp/prj-matsuoka311/index.html>



(プログラムの詳細は裏面にあります)



プログラム

MC：阿部加奈子（広野町復興企画課）

10:30 開会

開会宣言：勝田正文（早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科長・教授）

御挨拶：遠藤 智（広野町長）

松島武司（福島イノベーション・コースト構想推進機構）

【第1部】今までのふくしま学(楽)会について(10:45-12:30)

10:45 ふくしま浜通り社会イノベーション・イニシアティブ（SI 構想）について

松岡俊二（早稲田大学ふくしま広野 RC・センター長・

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授）

11:00 テーマ①：記憶遺産と教訓（1F 廃炉の先）

高校生（ふたば未来学園高校探究班）

森口祐一（東京大学大学院工学系研究科教授）

コメント：井上正（一般財団法人電力中央研究所・名誉研究アドバイザー）、小林正明（東京大学大学院法学政治学研究科客員教授）菅波香織（未来会議事務局長、弁護士）、吉田恵美子（NPO 法人ザ・ピープル理事長）

11:30 テーマ②／③：文化育成と発信（地域アート）／賑わいと生業（広域 DMO）

高校生（ふたば未来学園高校探究班）

青木裕介、大場美奈、磯辺吉彦（W-BRIDGE 福島プロジェクトチーム）

山口知（安部良アトリエ一級建築士事務所）

コメント：松本昌弘（檜葉町建設課）、大手信人（京都大学大学院教授）、森野晋次（アーティスト、アートプロジェクト気流部代表）ヴィヴィアン佐藤（アーティスト、バンタンデザイン研究所講師）、藤城光（アーティスト、PRAY+LIFE 代表）、阿部加奈子（広野町復興企画課）

橋本英重（ミッドメディア代表取締役、JTB 総合研究所客員研究員）、根本賢仁（広野わいわいプロジェクト理事長）、島村守彦（いわきおてんと SUN 企業組合事務局長）

12:30 昼食・休憩

【第2部】これからのふくしま学(楽)会について(13:30-14:50)

13:30 基調講演 A：1F 廃炉の選択肢と課題

宮野廣（日本原子力学会・福島第一原子力発電所廃炉検討委員会委員長）

14:10 基調講演 B：学園における先駆的教育と未来予想

南郷市兵（ふたば未来学園高校副校長）

【第3部】分科会(10年後、25年後、40年後の未来):テーマ別ディスカッション(14:50-16:30)

14:50 テーマ①：記憶遺産と教訓（1F 廃炉の先）

テーマ②／③：文化育成と発信（地域アート）／賑わいと生業（広域 DMO）

16:00 グループ別集約発表（各5分）

【第4部】グループディスカッション:10年後、25年後、40年後の未来は誰が決めるのか(16:30-17:45)

16:30 世代間グループディスカッション（4世代×2名程度）

高校生、10年後（社会人）、25年後（子育て世代）、40年後（退職間近）

17:35 閉会挨拶：松岡俊二（早稲田大学ふくしま広野 RC・センター長・早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授）

17:45 終了

（18:30～20:30:会場のならば CANvas において懇親会を開催します）

